

モニタリング結果報告書 (令和6年度)

1. 施設概要

施設名	山北つぶらの公園		
所在地	足柄上郡山北町都夫良野		
サイトURL	http://www.kanagawa-park.or.jp/tsuburano/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例（昭和32年神奈川県条例第7号）		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進（平成29年3月）		
指定管理者名	公益財団法人神奈川県公園協会		
指定期間	R4.4.1 ～ R9.3.31 (2022年) (2027年)	施設所管課 (事務所)	都市公園課 (県西土木事務所)

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
利用状況の評価はB評価、利用者の満足度の評価はS評価、収支状況の評価はA評価で、3項目評価はA評価となった。 利用状況については、事業計画を踏まえ、イベント等の広報を積極的に行ったが、暑熱の影響等によりB評価となった。利用者の満足度については、日々の維持管理をきめ細やかに行い、快適な利用空間を提供したことから、S評価となった。収支状況については、電気料金の高騰などの変動もあったことから、業務全体の収支計画を見直したことにより、概ね計画どおりで、A評価となった。 過去2年の実績を踏まえ、毎月のモニタリングの際に管理運営方法について、関係者間でしっかりと調整を行うなど、年間のイベントの実施や高水準の維持管理に努めていた。 今後も、丁寧な管理運営を継続していただくとともに、地域との連携やPRの強化など、さらなるサービスの向上に期待している。
<各項目の詳細説明> ◆管理運営等の状況 提案に基づいて、植物管理や施設の清掃、保守点検を行い、安全で快適な利用空間の提供に努める取組を実施した。様々なイベントの開催にも力を入れ、利用促進のための取組を進めた。 ◆利用状況 利用促進のためのイベント等を計画以上に検討、開催しているが、とくに暑い時期の利用者数の伸び悩みが影響し、利用状況は目的達成率98.9%でB評価となった。 ◆利用者の満足度 利用者満足度調査の結果、上位2段階の回答割合が98.5%と高い評価を得たため、S評価となった。 ◆収支状況 電気料金の高騰による光熱水費等の支出について増加したものの、計画以上の自動販売機利用により収入の増加が見込まれたため、収支差額は168千円によりプラスとなり、収支比率が100.4%となったためA評価となった。 ◆苦情・要望等 職員対応に関する苦情が1件寄せられ、職員同士で周知徹底を図るなど、サービスの向上につなげた。 ◆事故・不祥事等 該当なし。 ◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査や労働基準監督署からの指摘事項はなく、良好な労働環境の確保に取り組んでいた。 ◆その他 なお、令和6年度の3項目評価については、A評価とした。

3. 3項目評価の結果

3項目評価	利用状況 (項目6参照)	利用者の満足度 (項目7参照)	収支状況 (項目8参照)	3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう。
A	B	S	A	S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	無	
現地調査等 の実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	毎月実施	指定管理者から提出された報告書の内容と現地状況を確認した結果、適切に指定管理業務が履行されていることを確認した。
意見交換等 の実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
	毎月実施	公園管理事務所で、月例報告を受けた上で、課題や調整事項などの意見交換を実施した。
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有・無	指導・改善勧告等の内容

5. 管理運営等の状況

〔 指定管理業務 〕

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
5月にイベント「お茶摘み体験」を実施。 NPO法人共和のもりの方々を指導員として、園内の資源を活用したイベントを企画し、利用者数の向上を図る。計画参加者人数50人。	計画を上回る247人の利用者が参加し、NPO法人との連携により公園利用、地域振興の促進に大きく貢献した。	地域のNPO法人と連携し、良好な実績を上げた。引き続き、利用者サービス向上のためのイベントを実施してほしい。
6月にイベント「山岳遭難救助デモンストラーション」を実施。 神奈川県警察松田署山岳救助隊と連携し、利用者数の向上と安全登山の啓発を図る。計画参加者人数は10人。	計画を上回る40人の利用者が参加し、公園利用の促進、職員の能力向上に大きく貢献した。	周囲での登山等の活動も踏まえ、良好な実績を上げた。引き続き、地域に貢献するようなイベントを実施してほしい。
9月にイベント「お山の星空観察会～夏の星座を観察してみよう！～」を実施。 講師の富川孝治氏と富川奈津子氏と連携し、利用者数の向上を図る。計画参加者人数は20人。	計画を上回る36人から申込みがあり、20人の利用者が参加し、公園利用の促進に大きく貢献した。	地域の専門の方を講師として招き、良好な実績を上げた。引き続き、多くの方が参加できるようなイベント運営を心がけてほしい。
11月にイベント「山北つぶらの公園まつり」を実施。 公園スタッフが主体となり、NPO法人共和のもり、あしたばら音楽ラボなどと連携した企画や、地元業者による飲食物の提供など、地域一体で利用者数の向上を図る。計画参加者人数は500人。	計画を上回る約600人の利用者が参加し、公園利用、地域振興の促進に大きく貢献した。	地域の様々な団体や業者と連携し、良好な実績を上げた。引き続き、地域振興にも寄与する多様なイベントを実施してほしい。

〔 参考：自主事業 〕

事業計画の主な内容	実施状況等
カレンダー事業 県立都市公園のPRを行う。	計画通り実施。
富士山、大野山、相模湾など、雄大な眺望を活かした本公園の良さを利用者に堪能していただくため、見晴らしの良いさくら山展望広場、つつじ山展望広場、駐車場の3箇所に望遠鏡を設置する。	計画通り実施。
イベント時や繁忙期のケータリングサービス (森の中のカフェを演出)	5月の連休、11月のイベント(山北つぶらの公園まつり)の際に実施し、多くの来園者に利用され、大変好評であった。

6. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 ※施設の特性から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性自立支援施設と県営住宅等が該当）。
B	

	前々年度	前年度	令和6年度
利用者数※	34,917	35,606	37,472
対前年度比		102.0%	105.2%
目標値	31,400	34,500	37,900
目標達成率	111.2%	103.2%	98.9%

目標値の設定根拠： 提案書記載の目標値

利用者数の算出方法（対象）： 駐車台数から推計

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

＜備 考＞
利用促進のためのイベント等を計画以上に検討、開催しているが、とくに暑い時期の利用者数の伸び悩みが影響し、利用状況は目的達成率98.9%でB評価となった。

7. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合評価の「満足」回答割合で行う。
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	指定管理者による簡易アンケートは通年、詳細アンケートは年2回（5月と11月）実施。	本報告書では、通年の簡易アンケート及び年2回の詳細アンケートを使用する。指定管理者による適切な公園管理により、利用者から高い満足度を得ている。

〔 サービス内容の総合評価 〕

質問内容 公園の管理運営状況を総合的に見るといかがでしたか

実施した調査の配布方法 簡易：PC窓口で配架
詳細：利用者に直接 回収数／配布数 260 / 269 = 96.7%
配布

配布（サンプル）対象 公園利用者

	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合評価の回答数	230	26	3	1	0	260	
回答率	88.5%	10.0%	1.2%	0.4%	0.0%		
前年度の回答数	179	19	2	2	0	202	
前年度回答率	88.6%	9.4%	1.0%	1.0%	0.0%		
回答率の対前年度比	99.8%	106.3%	116.5%	38.8%	100.0%		

（複数回実施した場合は、平均値を記載。）

＜備考＞

利用者満足度調査の結果、上位2段階の回答割合が98.5%と高い評価を得たため、S評価となった。

8. 収支状況

評価	《評価の目安：収支差額の当初予算額が0円の施設》 収入合計／支出合計の比率が、S(優良)：105%以上　A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満　C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
A	

〔 指定管理業務 〕 (単位：千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	38,256	0	0	0	38,256	38,256	0	
	決算	38,256	0	0	0	38,256	38,158	98	100.26%
前年度	当初予算	38,256	0	150	自動販売機 150	38,406	38,406	0	
	決算	38,256	0	307	自動販売機 307	38,563	38,318	245	100.64%
令和6年度	当初予算	38,256	0	150	自動販売機 150	38,406	38,406	0	
	決算	38,256	0	267	自動販売機 267	38,523	38,355	168	100.44%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数		(単位：千円)
令和6年度 /	前年度 /	前々年度 /

<備考> 電気料金の高騰による光熱水費等の支出について増加したものの、計画以上の自動販売機利用により収入の増加があったため、収支差額は168千円によりプラスとなり、収支比率が100.4%となったためA評価となった。
--

9. 苦情・要望等 ☐ 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備		件		
		件		
職員対応	苦情 (メール)	1 件	(8月) 駐車場の利用時間について、利用者 に対し、誤った閉園時間を伝えてし まった。	(8月) 再発防止のため、職員 同士で駐車場利用時間 厳守の周知徹底を図っ た。
		件		
事業内容		件		
		件		
その他		件		
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 ☒ 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。